



100号発行記念特別号

発行日 令和6年11月30日
 発行人 白石直人
 TEL・FAX 026-244-5165

広報誌「せせらぎ」100号発行記念特別号発刊に寄せて

「節目となるべき住民自治協議会を目指して」

令和6年度 浅川地区住民自治協議会 会長 白石 直人

浅川地区住民自治協議会の広報誌「せせらぎ」も発行100号となり、四半世紀に渉り地区住民に情報発信を続けてまいりました。これまでの浅川を知るには、最も手軽な情報源として多くの皆様に親しんでいただいておりますが、過去の出来事の記憶が薄れ、各地域において伝統行事が減っていく中で、一番長く地区を見つめてきたのが「せせらぎ」ではないでしょうか。

時代と共に変化を続けてまいりましたが、今後も広報委員とともに住民自治協議会事務局一同で拙い知恵を絞り楽しい広報誌づくりを目指してまいります。今後も、住民の皆様、ご家族の健康と各地区の元気な活動を祈念申し上げ発刊の挨拶とさせていただきます。

2007(平成19)～2009(平成21)年度 会長 徳竹 貞夫 ～発足までの道のり～

平成19年6月発刊の広報誌「せせらぎ」が100号発行の節目を迎えました。草創期3年間の住民自治協議会を担った者として、当時を振り返ってみたいと思います。

長野市では都市内分権構築を目的として15年1月審議会を設置し、平成16年12月調査研究を答申。平成17年2月には都市内分権専門部会を設置し、コミュニティ分権を模索、平成18年度より21年度までに当時30地区に対し都市内分権の構築・住民自治協議会設置を求めました。

平成18年4月に一番最初に若槻地区で発足、続いて松代・安茂里・古牧・浅川地区は平成19年4月に市内5番目の住民自治協議会として発足しました。

浅川では平成19年4月に準備会を設置、区長会及び関係諸団体による80数回の検討会、地区説明会6回、組織検討委員会18回、三役会14回等、145回に渉る“産みの苦しみ”を経てようやく設立に至りました。平成22年度には市内全32地区において住民自治協議会がスタートしました。

この間の区長・諸団体長、支所はじめ関係各機関のご尽力に深甚なる敬意を表します。

住自協設立準備会 第2号 2006(平成18)12.15



第1号 2007(平成19)6.30



第8号 2008(平成20)12.15



2010(平成22)年度 会長 山腰 建美 ～区長制度廃止に抗して～

発足当初最も検討を要したのは区長制度廃止の方針でした。それまで長野市が各区長に処理させていた19項目の業務を住民自治協議会に移行するだけとの考えがあったからです。しかし浅川は区長廃止の声もある中、区長会を組織の中心に据えました。自分の区のことなら一歩も引かない区長さんの熱意と責任感を信じていたからです。

さらに、「大池南区」の新規設置が上申され区長設置を後押ししてくれました。

また、区長会長を経験したら次年度は住民自治協議会長に選任するという暗黙の了解も自治活動の活性化に役立っていると考えます。

第14号 2010(平成22)5.31



第22号 2011(平成23)9.30



【乗り合いタクシーが15人乗りに】
H23.8.8



【元気なまちづくり市民会議】
H23.8.28

2011(平成23)年度 会長 小林 邦一 ～揺籃期の住自協～

当時は住自協が発足したばかりであり、我々のみならず、市の担当部局も手探りで新しい自治組織を作っていこうとしていた、まさに「揺籃期」という時期でした。現在の住自協の活動ぶりや、事務局体制の充実ぶりを見ると、当時を知るものとして隔世の感がします。

今後の住自協を考えると、私には一つ懸念があります。それはボランティアで地域を支えている区長や各種団体役員の負担が大きくなりすぎているのではないかとということです。この負担を軽減するということは喫緊の課題ではないでしょうか。

そこで私なりの意見を一つ提案させていただきたいと思います。

現在、区や各種団体が市に補助金等を申請する際、申請書・経過報告書・実施結果報告書等の作成に大変な事務負担を求められている現状があります。これは公金が不正に使用されてはいけないという目的のために求められている事務手続きですが、この目的達成のためには文明の利器の活用をもっと考えていくべきではないでしょうか。

具体的には「情報公開と公益通報制度による不正防止力の活用」です。

これは紙ベースによる方式よりも不正防止の観点からもはるかに強力であり、同時に事務負担の大幅な軽減につながるものだと思います。

区長や団体役員の献身的なボランティア精神に支えられている住自協の活動を、今後も持続力あるものにしていくために、経済性、効率性、効果性の観点から不断の見直しが求められていると思います。

広報誌「せせらぎ」掲載記事一覧

年		発行日	せせらぎ	年度	主な掲載内容
2006	平成18年	12月15日	準備会報 第1号 A3判2P	平成18年度	浅川地区住民自治協議会設立準備会設置を決定（「百尺竿灯に一步を進む」～徳竹貞夫設立準備会会長挨拶）、一緒に活動する個人・NPO・グループ等を募集、住民自治協議会イメージキャッチフレーズ募集、“Q&A～なぜ住民自治協議会が必要なのでしょうか、どんなことをするんですか？”
2007	平成19年	4月1日	準備会報 第2号 2P	平成19年度	浅川地区住民自治協議会総会開催告知・組織概要（案）
		6月30日	第1号 2P		浅川地区住民自治協議会設立総会～市内30地区中5番目の設立、4部会46団体で構成、スローガン・キャッチフレーズ決定！～スローガン：“みんなで作る元気の浅川”、キャッチフレーズ：“あたたかい浅川・ささえあう浅川・活動的な浅川・若やく浅川”（伺去：中原さし子さんの作品）
		9月20日	第2号 2P		「元気なまちづくり市民会議」開催～鷺沢市長・市幹部と意見交換（熊・猪被害防止策、ゴミの不法投棄対策、飯綱ループ橋～浅川支所～浅川若槻線早期開通他）、「あさかわ号」運行開始（439人が登録）
		11月1日	第3号 4P		発足してから半年の住民自治協議会～4部会に属する団体間の調整作業・活動報告、浅川東条・台ヶ窪線改良委員会報告
2008	平成20年	1月10日	第4号 6P	平成19年度	年頭の挨拶～徳竹貞夫会長、松木・寺沢顧問、「あさかわ号」活躍中、民生委員制度90周年記念事業、環境美化連合会・少年育成委員会・人権同和教育推進協議会・浅川地区子どもボランティア紹介
		3月20日	第5号 4P		区長会下里政弘会長（一年を振り返って）、4部会（産業・振興部会、地域・文化部会、安心・安全部会、次世代育成部会）の年間活動報告、浅川畑地灌漑水組合紹介
		6月30日	第6号 10P	平成20年度	2008（平成20）年度総会開催（徳竹貞夫会長・4部会長就任挨拶、事業・決算報告（収入：1,198千円・支出：1,046千円）、予算・事業計画、役員選任）、団体活動保険加入
		9月30日	第7号 4P		「元気なまちづくり市民会議」（浅川地区を「ほたるが舞う里」にしよう、観光資源としての給湯ステーション設置、北部幹線早期開通ほか）、平成22年度からの住民自治協議会活動本格化に向けて～市依頼事務見直し（案）提示、防災訓練
		12月15日	第8号 2P		住民自治協議会シンボルマーク決定（浅川小4年花岡まみのさんの作品）・会旗作成、部会再編成（4→7部会～総務環境部会・福祉健康部会・教育文化部会・次世代育成部会・安全防災部会・産業振興部会・基盤整備部会）、役員（事務局・部会会計）新設～平成22年度からの本格実施に備えて
2009	平成21年	3月10日	第9号 2P	平成21年度	臨時総会（会則・組織等を改正～7部会構成、評議委員90人以内、評議委員に学識経験者・公募委員を加える、常任評議委員30人以内、事務局長を置く）、公募委員募集
		6月30日	第10号 8P		2009（平成21）年度総会（徳武貞夫会長挨拶、事業・決算報告、予算・事業計画、役員選任）、長野市と「基本協定書」締結→住自協32地区本格始動、地域活性化アドバイザー設置
		9月10日	第11号 4P		「元気なまちづくり市民会議」（高齢者介護体制強化、返目浅川線早期着工、防災倉庫への浄水器整備、マレットゴルフ場の建設、門沢・畑山地区道路整備ほか）、浅川小学校ビオトープにホタル舞う環境づくり（ホタルの会）、地元農産物直売所のご案内（坂中直売所・中曽根地場産品直売所）
2010	平成22年	1月31日	第12号 4P	平成21年度	臨時評議委員会（総会）（都市内分権実施～分権対象13団体を7団体に再編、区長全員を常任評議委員に、企画調整委員会設置、市選択事務は全て実施）、公募委員・事務局職員募集
		3月31日	第13号 4P		都市内分権の本格始動に向けて（市設置13団体（区長会・社協等）を7団体に再編）、大池南区（中曽根ニュータウン）が仲間入り（浅川地区19の行政連絡区に）、やまざと支援交付金事業、冬季スポーツ大会、ふれあい会食会

第25号 2012(平成24)3.31



第31号 2013(平成25)3.31



【台ヶ窪「まちの縁側」】H24.4.19



【浅川少年野球 4 冠】H24.8.11



2013(平成25)年度 会長 近藤 恒雄 ～浅川の歴史に誇りを～

住自協の会合で某地区の会長が浅川地区は中山間地区では無いのではないのかとの発言があり驚きました。確かに今日の浅川地区は平坦部に住民が密集していますがそれは極く近年のこと。それまで此の地域は水田が広がる田園地帯でした。集落は山間に点在または山裾にあって歴史的にも古く興味深いふるさとであり、それが本来の浅川の姿です。

私達はこの浅川の歴史に誇りを持って次世代に繋いでいく責任があります。その意味で私が住自協会長当時、市行政が示した「まちづくり計画」の名称に違和感を覚え、浅川は「まちづくり」でいいのか役員の皆さんに問い掛けました。名称は大きな意味を持つからでした。今でも各地区の由緒ある地区名とともに誇りをもって永続する浅川であってほしいと願っています。

第33号 2013(平成25)7.31



第37号 2014(平成26)3.31



【更生保護女性会設立】H25.7.10



【スパイラルNTC指定継続を
文科省・国会に陳情】H25.12.8

年	発行日	せせらぎ	年度	主な掲載内容
2010	平成22年	5月31日	平成22年度	2010（平成22）年度評議員会（定期総会）（山腰建美会長挨拶、事業計画・予算（13,644千円）、役員体制）、浅川ダム本体工事本格化、やる気支援補助金採択（浅川小学校内水地にゲンジボタルを）、浅川マレットゴルフ場整備進む、西条諏訪社御柱祭
		7月31日		平成22年度区長会新たな発足（松木茂盛会長挨拶、区長の市長からの委嘱制度廃止→行政連絡区代表に）、地域活性化委員配置（地域活性化アドバイザーから変更）
		9月30日		「元気なまちづくり市民会議」（ゴミ不法投棄対策、東条台ヶ窪線早期完成、大池南区上水道整備、マレットゴルフ場建設ほか）、住自協研修旅行
		11月30日		企画調整委員会発足、長野市東北ブロック「人権同和研修会」浅川公民館で開催、第30回ゆうわ祭、団地二丁目交差点死亡事故、浅川小学校ビオトープに花球根植付け
2011	平成23年	1月31日	平成23年度	山腰建美会長年頭の辞、新年祝賀会、どんど焼き、林部吾郎さん（五輪リージュ代表）より紅白段幕寄贈、浅川治水対策委員会ダム進捗状況視察
		3月31日		「しあわせづくり委員会（拝野忠昭会長）」発足（地域福祉計画策定）、鷺沢市長へ陳情（浅川ダム建設関連未整備事業～治水対策委員会、マレットゴルフクラブ）
		5月31日	平成23年度	2011（平成23）年度定期総会（評議員会）～小林邦一会長挨拶、決算・予算・事業計画、役員選任承認
		8月15日		区長会新メンバー紹介、長野信濃線早期改良促進を県陳情、神楽橋区30周年、春の地区内めぐり、有害鳥獣慰霊祭、「共に生きる」（今号から「せせらぎ」に掲載、小山社協会長他役員あいさつ、東日本大震災救済品の報告、浅川老人クラブ輪投げ大会）
		9月30日		「元気なまちづくり市民会議」（浅川団地檀田線拡張と交通安全対策、補助金事務合理化、ボランティアセンター設置等）、東条コミュニティ補助金受領（240万円）、坂中区中山間地直接払制度参加、浅川マレットゴルフ場オープン記念大会・祝賀会、「共に生きる」（ふれあい会食会、男性の料理教室）
		12月15日		第31回ゆうわ祭、「ホタルの会」発表（住民活動フォーラム）、浅川小学校ふれあい祭、戦没者追悼式、「共に生きる」（協力員研修会、傾聴講座、遊びの広場「アップルキッズ」遠足）
2012	平成24年	1月31日	平成24年度	小林邦一会長年頭の辞・新年祝賀会、どんど焼き、生活改善運動（金封作成販売）、「共に生きる」（「ひとり暮らし高齢者のつどい」、「介護者のつどい」）
		3月31日		社協「地域福祉活動計画」策定、マレットゴルフ場にソメイヨシノとオオヤマザクラ各25本寄贈（財団法人「日本さくらの会」）、「共に生きる」（ふれあい会食会・にこにこ健康講座、社協資源回収13年目）、冬季スポーツ大会（バレー・ソフトバレー・綱引き）、男女共同参画推進講演会
		5月31日	平成24年度	2012（平成24）年度定期総会（評議員会）～徳武英世会長挨拶、決算（支出：12,388千円）・予算（17,426千円）・事業計画、役員選任承認、不法投棄パトロール、浅川小学校農業体験
		8月31日		「社明のつどい」～映画「塙の中の中学校」、信更地区農家民泊視察、「共に生きる」（親子サークル「アップルキッズ」開始、あさかわ花の会苔玉づくり）、区長会研修旅行
		9月30日		「元気なまちづくり市民会議」（浅川檀田線早期安全対策、薬師公園整備・トイレ改善、同報無線屋外子局設置、マレットゴルフ場・油井跡の保守管理費助成、各種補助金申請文書の簡素化・事務処理の合理化等）、浅川育成会少年野球4冠達成、浅川小学校じゃがいも収穫体験学習、「共に生きる」（男性の料理教室）
		11月30日		第32回ゆうわ祭、浅川民生児童委員協議会～全国民生児童委員大会で表彰、浅川公民館・人権啓発委員会合同研修会、浅川西条区で防災訓練、「共に生きる」（「救急医療情報キット」配布、花の苗交換会、福祉バザー）

2014(平成26)年度 会長 竹村 美岐雄 ～「第一次まちづくり計画」実践の歩み～

私の座右の銘は、“継続は力なり”です。当時「浅川地区まちづくり計画（第一次）」を立案し、チーム・フロンティア浅川というグループで、浅川ダムを中心にブランド薬師、周辺の環境整備を行ってきました。活動の一つとして、浅川ループライン南斜面の草刈り、その後、2017年から花モモの植栽活動を続け、これまで75本植えました。

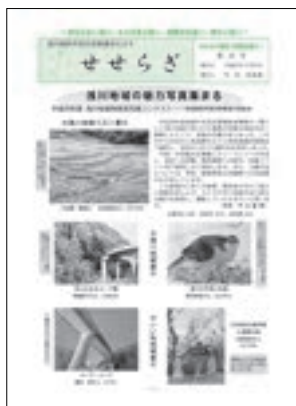
今年「ながの花と緑の大賞2024」の公共緑化の部で見事大賞を受賞することができました。これもひとえに、メンバーの皆さんが目的に向かって頑張った結果です。また、ボランティアで発行している“あさかわまちづくりニュース”も現在70号（10/1 現在）に達しています。

今年7月、浅川改良事務所と浅川住自協が協賛し「浅川ダム祭り」が開催されました。出演した“スティーλπパンダ”の演奏を静かに目を瞑って聞いていましたが涙が出ました。地域の皆さんがベクトルを合わせて活動すると、楽しい浅川地区ができるんだと。今後も共に活動を!!

第39号 2014(平成26)7.31



第43号 2015(平成27)3.31



【長野県北部震度 6 弱】 H26.11.22

2015(平成27)年度 会長 帯刀 匠 ～どうせやるなら楽しく～

平成27年度住民自治協議会の会長を務めさせていただきました。「どうせやるなら楽しくやろう」とそれぞれの区長さんにお伝えし事業を行うことに協力いただきました。

数多くの事業の中で心に残ることは「活き生き浅川みんなでトーク」を開催したことです。加藤市長、市理事者を招き「浅川地区の現在（いま）と未来（これから）」について活発な意見が交わされたことが心に残っています。楽しく活動できた一年でした。

2016(平成28)年度 会長 穂澤 正夫 （令和4年逝去）

第47号 2015(平成27)11.30



第52号 2016(平成28)9.30



【加藤市長と懇談】 H28.11.21



【スパイラル休止決定（市長説明）】 H29.4.10

年	発行日	せせらぎ	年度	主な掲載内容
2013	平成 25 年	1月31日	平成 24 年度	徳武英世会長年頭の辞・新年祝賀会、浅川ダム現場見学会、 西条諏訪神社長 野市文化財指定20周年記念式典 、「共に生きる」(「男性の料理教室」、「安心 カード」)
		3月31日		平成25年度長野市やる気支援補助事業採択(交流観光マップ作成) 、「共に生 きる」(ふれあい会食会・にこにこ健康教室、お話相手ボランティア養成講 座、福祉推進委員会の活動)
		5月31日	平成 25 年度	2013(平成25)年度定期総会(評議委員会) ～近藤恒雄会長挨拶、決算・予 算・事業計画、役員選任承認、地域たすけあい事業、浅川小学校じゃがいも 植付け体験
		7月31日		定例常任評議委員会・区長会の紹介 、東条台ヶ窪線・伺去工区工事進行中、 浅川小学校音楽会、「共に生きる」(台ヶ窪の縁側)、 子ども自転車競技県大 会9位
		9月30日		「元気なまちづくり市民会議」 (返目浅川線、浅川若槻線早期着工、ブランド 薬師公園駐車場新設)、 浅川地区更生保護女性会設立 、「共に生きる」(地 域包括ケア研修会、まちの縁側「金蛙泉」)、市民運動会、「移住者の体験談」
		11月30日		第33回ゆうわ祭、 浅川地区交流観光マップ発刊 、「共に生きる」(認知症サポ ーター講座、花の苗交換会、 浅川にボランティアセンター新設を(小山社協会 長) 、ゆうわ祭福祉バザー、まちの縁側「原田基典さん宅」)、南三陸「被災 地の研修から」、浅川地区防災訓練
2014	平成 26 年	1月31日		近藤恒雄会長年頭の辞・新年祝賀会、 加藤新市長と役員の懇談 、浅川ダム見 学会、 スパイラルのナショナルトレーニングセンター指定継続陳情 、「共に 生きる」(民生委員・児童委員改選、福祉推進員地区代表会、ボランティア 養成講座、まちの縁側「グループホームあさかわ」)
		3月31日		第1回浅川地区住民福祉大会 、平成26年度やる気支援補助金採択(浅川地区 地域資源発見事業)、 消防団無火災賞授与 、 まちづくり計画全戸アンケート 実施 、「共に生きる」(世代間交流お餅つき交流会、福祉大会表彰、園芸ボラ ンティア講座)
		5月31日	平成 26 年度	2014(平成26)年度定期総会(評議委員会) ～竹村美岐雄会長挨拶、決算・ 予算・事業計画、役員選任承認、じゃがいも植付け・しいたけコマ打ち体験 学習、 地域再発見写真コンテスト募集 、地域たすけあい事業紹介、「共に生 きる」(お知らせ「地域たすけあい事業」)
		7月31日		発足5年目を迎えた住民自治協議会 、構成団体紹介(以降、毎号各団体紹介)、 支所発地域力向上支援金選考会、 第1回若槻浅川情報交換会 、あいさつ運動、 「共に生きる」(民協・福祉推進員・社協役員合同研修会、家事援助「やまび こ会」紹介)
		9月30日		「社会を明るくする運動 浅川地区住民のつどい」 (有明高原寮の教育)、 第 7回人権住民大会(児童文学者和田登氏講演) 、 若槻地区区長部と浅川地区 区長会との交流会 、浅川名勝地巡り、市民運動会、「共に生きる」(地域包括 推進ネットワーク会議)参加、「作ってみよう」、「男性の料理教室」)
		11月30日		初めての「活き生き浅川みんなでトーク」 (加藤市長との懇談～ダム周辺整備、返 目浅川線・浅川若槻線早期着工、高齢化と地域活動支援、中山間地へのAED・除 雪機常備)、防災訓練、第34回ゆうわ祭、戦没者追悼式、「共に生きる」(「博愛の 園」研修訪問、アップルキッズおやつ作り)、坂中公民館に「ぎんなん」実る
		11月30日		「浅川地区まちづくり計画」に関するアンケート調査結果～「第一次浅川地 区まちづくり計画」策定に向けて
2015	平成 27 年	1月31日		竹村美岐雄会長年頭の辞・新年祝賀会、 第2回住民福祉大会 (浅川団地もりあげ隊 報告)、 長野県北部に震度6弱の地震発生(神城断層地震～浅川地区にも大きな被 害) 、門沢秋葉神社・ブランド薬師・北郷鎧田「ながの百景」に選ばれる、浅川ダム 現地視察、7地区合同成人式、「共に生きる」(住民福祉大会、応急処置法研修会)
		3月31日		「浅川地域再発見写真コンテスト」選考 (浅川の魅力写真集まる)、やる気 支援補助金3年目採択、男女共同参画講演会、 第三期長野市都市内分権推進 計画概要 、「共に生きる」(おもちゃ交流会、避難所運営ゲーム、ふれあい 会食会、おしゃべりサロン)、冬季スポーツ大会

2017(平成29)年度 会長 小林 芳信 ～浅川ダム満水の思い出～

今年は元旦より能登半島地震、また異常気象による災害が頻発する昨今です。そんな中で多目的機能を持つ浅川ダムの重要性が着目される現在、ダム建設に当たっては長年の懸案事項であった浅川下流域治水事業の最終段階であり、幾多の難局を乗り越え完成に導いた諸先輩のご努力に改めて敬意を表するところです。

私が会長に就いた平成29年7月24日には浅川ダム竣工式が行われました。

浅川ダム完成を前に約2か月間をかけて試験湛水が実施され、区長会長在任中の平成29年1月3日、浅川地区新年祝賀会のおり、当時の畑浅川支所長より「ただいま浅川ダムが満水になりました！」との報告があり、一瞬会場がどよめいたこと、また翌日には家族で上流の高台より満水のダム全容風景と高さ50メートルの余水吐きからカーテン状に落水する水しぶきを見たときの迫力は今でも鮮明に覚えております。この事が在任中の一番の思い出であります。

第59号 2017(平成29)11.30



第61号 2018(平成30)3.31



【浅川ダム満水→余水吐きから流れる水】
H29.1.3



【浅川ダム竣工式（阿部知事挨拶・テープカット）】
H29.7.24

2018(平成30)年度 会長 山田 潤 ～“道産子”として会長に～

長野冬季オリンピックの仕事で長野市に転勤して以来、家族を長野市に残して東京～北海道と単身赴任していたため、NHKを退職後に長野市に戻って来ましたが、元々北海道出身・育ち（いわゆる道産子）であり、浅川地区の実情がよく分からないまま、浅川地区の住民自治協議会会長に就任することになりました。なった以上は皆さんにご迷惑をかけないようと、精一杯頑張ったつもりです。

過去の資料を振り返ってみたところ（幸いに廃棄していませんでした）、よくこれだけの事業がやれたなというのが正直な印象です。多くの優れたメンバーが周囲にいないければ、これだけの幅広い事業を達成することは到底出来なかったと思います。会長職をやったご縁で地域の多くの皆さんと知り合いになれたことは、今でも貴重な財産となっています。今年で74歳ですので、身体はかなりガタがきていますが、浅川地区のために協力は惜しまないつもりです。

第63号 2018(平成30)7.31



第65号 2018(平成30)11.30



【浅川治水対策委員会解散総会】H30.3.19



【スパイラル友の会解散総会】H30.4.21

年	発行日	せせらぎ	年度	主な掲載内容
2015	平成 27 年	5月31日	平成 27 年度	2015（平成27）年度定期総会（評議委員会）～帯刀匠会長挨拶、決算・予算・事業計画、役員選任承認、善光寺御開帳「日本一の門前町大縁日」に参加、浅川小ビオトープにホタル幼虫放流（浅川ホタルの会）、浅川小学校農業体験・椎茸コマ打ち体験学習始まる、2015浅川地域再発見写真コンテスト募集
		7月31日		消防団5年ぶりポンプ操法大会（市大会5位入賞、協会大会7位）、浅川小学校自転車クラブ5位入賞（長野県小学校自転車競技大会）、長野市住民自治連絡協議会発足、「共に生きる」（移送協力員研修会、花の苗交換会、あいサポーター研修会、にこにこ健康教室・ふれあい会食会）
		9月30日		浅川地区防災訓練（雨のため体育館で実施）、「社会を明るくする運動のつどい」（長野県警所長講演）、民児協6地区交換研修会（浅川で開催）、第8回人権住民大会（映画「ある精肉店の話」）、市民運動会、第2回「地域ガイドと回る浅川地区の名勝地巡り」、「共に生きる」（アップルキッズでSBCアナ2人が読み聞かせ）
		11月30日		「生き生き浅川みんなでトーク」～テーマ「浅川地区の現在（いま）と未来（これから）」～（ダム周辺総合開発整備、地域伝統文化の継承、高齢化・人口減少下の住民組織、中山間地の諸課題）、浅川団地50周年記念式典、戦没者追悼式、「綿の実」が弾けました、「共に生きる」（アップルキッズおやつ作り、花の苗交換会）
2016	平成 28 年	1月31日	平成 28 年度	帯刀匠会長新年あいさつ・祝賀会、浅川地区に赴任して（畑順子支所長）、第3回住民福祉大会（盲導犬チャールズ君登場）、全国人権同和研修会が長野県で開催、浅川ダム現地視察（ダム竣工を前に）、浅川団地ネコ会議、「共に生きる」（男性の料理教室、認知症サポーター講座）、住自協職員募集
		3月31日		第2回浅川地域再発見写真コンテスト結果、男女共同参画推進講演会（長野キリスト教会尾崎富雄氏講演）、「浅川地区まちづくり計画～みんなで創る元気なふるさと浅川～」策定完了、「野生鳥獣被害を考えるつどい」（中山間地域13地区一堂に）、「あさかわ号」利用促進を、第3回浅川・若槻情報交換会、「共に生きる」（ふれあい会食会）
		5月31日	平成 28 年度	2016（平成28）年度定期総会（評議委員会）～穂澤正夫会長挨拶、役員選任承認、総会後「区民交流懇親会開催、西条諏訪神社御柱祭、「こんにちは！浅川支所です」コーナー開始、浅川小農業体験学習、「共に生きる」（小山隆会長挨拶・平成28年度新体制）
		7月31日		浅川支所周辺花壇整備・花の苗交換会（花のボランティア）、春の地区内めぐり、「浅川盛り上げたい（AMT）」会員募集、支所発地域力向上支援金事業選考会、第4回若槻・浅川情報交換会、「こんにちは浅川支所です」（“地域きらめき隊”松本支所長補佐赴任）、「共に生きる」（花の苗交換会、日赤奉仕団救急法講習会、ふれあい会食会）
		9月30日		門沢遊休農地にそば播種（遊休農地活性化委員会）、「社明のつどい」（犯罪被害者支援センター中島事務局長代理講演）、第9回人権住民大会（映画鑑賞）、日赤奉仕団（善光寺清掃奉仕）、「あさかわの里山と森を守る会」設立・会員募集、「共に生きる」（長野市地域包括支援センター「博愛の園」紹介）
2017	平成 29 年	11月30日	平成 28 年度	浅川地区防災訓練、戦没者追悼式、「あさかわの里山と森を守る会」設立総会、遊休農地活性化委員会そば収穫、浅川ダム試験湛水開始、浅川河川敷遊歩道整備に向けて（「まちづくり計画浅川ダム景観整備チーム」）、「共に生きる」（ひとり暮らし高齢者のつどい、浅川産の綿で編みぐるみ制作、グループホームあさかわ紹介）
				穂澤正夫会長年頭の辞、初めての加藤市長との懇談（ダム完成後の周辺及びブランド八ヶ岳公園整備、希少種蝶保護対策）、加藤市長へスパイラル施設維持継続要望書提出、第4回住民福祉大会（私の国際交流・東条赤沼真知子さん講演）、浅川ダム満水（1月3日）、「共に生きる」（「ふくちゃん号」が新しく、「男性の料理教室」（そば打ち体験））
		3月31日	平成 29 年度	浅川地域再発見写真コンテスト、「飯綱炭工房」の炭焼き（21世紀の生活を考える会）、スパイラル一部休止提言（長野市公共施設適正化検討委員会）、平成29年度地域やるき支援補助事業採択、「浅川ダム展望広場愛護会」設立、「共に生きる」（ふれあい会食会、アップルキッズ）、冬季スポーツ大会（ソフトバレー・綱引き）
		5月31日		2017（平成29）年度定期総会、ボブスレー・リュージュ（スパイラル）休止決定（加藤市長浅川訪問で説明）、「こんにちは浅川支所です」（横山曉支所長赴任）、浅川小学校農業体験、「共に生きる」（29年度役員挨拶、たすけあい賛助会員募集）、第1回ながの獅子舞フェスティバル（伺去・北郷・台ヶ窪が参加）、ソフトボール大会
		7月31日		「長野市公共施設マネジメント」出前講座（浅川地区対象13施設）、門沢遊休農地にえごま植付け、春の地区内めぐり、支所発地域力向上支援金事業選考会、浅川小学校コミュニティスクール運営委員会、「共に生きる」（花の苗交換会、ふれあい会食会で浅川小児童と交流、たすけあい事業協力会員紹介）

2019(令和元)年度 会長 山崎 智功 ～SBC取材に同行～

令和元年度住民自治協議会長を務めさせていただいた後、浅川地区まちづくり計画委員長となった秋である。「ブランド薬師と十三仏」についてSBCの取材を受けることになり、役員他数名と共にタレントの大久保ノブオさんの取材に同行。ブランド薬師表参道正面鳥居から参道の十三仏の説明をしながら散策、ブランド薬師から浅川ダムまで歩き、ダムを見学。

昼食を挟んで善光寺の宿坊光明院でブランド薬師の本尊であった薬師如来立像を拝観させていただき、1日がかりの取材が終了しました。この時の様子が後日「ずくだせテレビ」の1コーナーである「噂の調査隊」で放送されました。私の人生で大きな経験であり、思い出深い1日となりました。

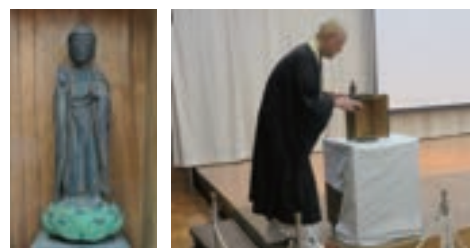
第71号 2019(令和1)11.30



第73号 2020(令和2)3.31



【地域おこし協力隊ワインブドウ畑・苗木植樹】
R元.5.18・19



【八穂神社・薬師如来が里帰り】 R元.11.9



2020(令和2)年度 会長 高橋 秀通 ～コロナ禍の中のまちづくり～

私が住自協会長を仰せつかった令和2年は新型コロナウイルスが猛威を振るい始めた時期でもあった。誰しもが未経験の事態に直面し、確たる予防対策もなく、マスク着用や三密の防止、都道府県を跨いだ移動の自粛、公共施設の閉鎖等が行われた。

住自協の活動においても、総会のもとより、各種の行事はほとんど中止としたが、毎月開催する常任評議委員会だけは、各区長さんへの連絡調整の役割があるため、感染防止の徹底を図りながら開催した。

そんな折、令和3年からの「第二次浅川地区まちづくり計画」の策定作業を行うこととなり、5月から令和3年1月まで8回に及ぶ策定委員会で検討を行った。検討に当たっては、コロナ禍が何時終息するか見通しはなく、この種の計画でよく見られる大風呂敷を広げるような内容は避け、現実的に中山間地域と平坦地域から成る浅川地区で、いかに計画の実効性を高めるかに努めるよう議論した。

コロナ禍は、現在、ワクチン接種等の予防対策の徹底により5類に移行した。しかし、この3年間に、我が国の経済社会活動は大きく変貌し、特に少子高齢化のなかで今まで以上に多様化・複雑化した課題が顕在化した。行政機関においては、このような現状を踏まえ、これからの地域の担い手をどのようにするか、真剣に考えていただきたいと思います。

年	発行日	せせらぎ	年度	主な掲載内容
2017	平成29年 9月30日	第58号	平成29年度	社明のつどい（保護司・歌手五島つばきさん講演）、 浅川ダム竣工式（7月24日）、浅川ダム展望広場愛護会直売・浅川ダム祭、第10回人権住民大会（読み語り・本多夫妻）、市民運動会、鯉のぼり募集、「共に生きる」（アップルキッズSBCアナウンサーの“読み聞かせ”がCMに）
	11月30日	第59号		「みどりの移動市長室」（ダム・ブランド薬師・遊歩道・真光寺公民館で加藤市長と懇談）、「浅川の公共施設を考える」市民ワークショップ開催、防災訓練、戦没者追悼式、第37回ゆうわ祭、「共に生きる」（認知症サポーター講座、浅川おとこ塾）、「里山と森を守る会」先進地視察（ハヶ岳森林文化の会）
2018	平成30年 1月31日	第60号	平成30年度	小林芳信会長年頭の辞・祝賀会、第5回住民福祉大会（三遊亭白鳥落語・ミュージックランドコーラス）、 男女共同参画「女性リーダー育成講座」 、「里山と森を守る会」の活動、門沢有休農地えごま収穫、浅川の一年を振り返って（横山暁支所長）、「共に生きる」（「いい聴き手になるには」研修会、屋敷田かがやきクラブ）
	3月31日	第61号		「浅川地区まちづくり計画」の現況と今後の取り組み、平成30年度ながのまちづくり活動支援金事業補助金採択（ダム周辺整備）、第2回「浅川の公共施設を考える」市民ワークショップ、「ありがとうスパイラル」（2月5日最終滑走）、飯綱炭工房炭焼き、「共に生きる」（にこにこ健康教室・ふれあい会食会、アップルキッズ5月開始）
	5月31日	第62号		2018（平成30）年度定期総会、「浅川スパイラル友の会」解散総会（4月21日）、「浅川治水対策委員会」解散総会（3月19日）、浅川ダム鯉のぼり掲揚、第2回獅子舞フェスティバル（3団体参加）、「共に生きる」（アップルキッズ、役員紹介）
	7月31日	第63号		浅川河川敷にホタル舞う（鑑賞会実施）、チーム・フロンティア浅川・八幡神社保存会住自協に加入、直売所紹介（浅川ダム展望広場愛護会、中曽根地場産品直売部会、坂中区）、第6回若槻・浅川情報交換会、門沢遊休農地えごま植付け、春の地区内めぐり、「共に生きる」（社協・民協・福祉推進員合同研修会、ふれあい会食会）
	9月30日	第64号		「社会を明るくする運動 浅川地区住民のつどい」（長野ダルク講演）、第11回人権住民大会（映画鑑賞・柳町中学校石塚陽介先生講演）、市民運動会、そば播種・えごま摘芯、保護司会「なかよし交流会」が浅川団地・西条で開催、ゴマシジミ保護監視パトロール、「共に生きる」（アップルキッズTSB「マイチャン。おはなし隊」で紹介）
	11月30日	第65号		「浅川地区まちづくり計画」着々と（フジバカマ苑にアサギマダラ飛来、浅川河川土手にハナモモ植栽）、地域おこし協力隊宋裕光さん着任、防災訓練、神楽橋区集会所完成、第38回ゆうわ祭、戦没者追悼式、そば・えごま収穫（遊休農地活性化委員会）、「共に生きる」（認知症サポーター講座、ひとり暮らし高齢者のつどい）
2019	平成31年 1月31日	第66号	平成31年度	山田潤会長年頭の辞・祝賀会、 第6回住民福祉大会（法政大湯浅誠教授講演）、浅川小学校創立130周年記念行事、ながのまちづくり活動発表会参加、8地区合同成人式、各地区どんと焼き、浅川の一年を振り返って（横山支所長）、「共に生きる」（浅川おとこ塾第二期、地域福祉活動功労者の声）、しめ縄作り
	3月31日	第67号		「浅川地区まちづくり計画」4年目（浅川ダム周辺・ブランド薬師整備完了に向けて）、浅川にアニメの聖地（伺去神社）、男女共同参画推進講演会、「飯綱炭工房」に支援を、「地域おこし協力隊だより」開始（宋裕光さんのワイン用ブドウ栽培を報告）、「共に生きる」（ふれあい会食会・にこにこ健康教室、たすけあい事業紹介）
	5月31日	第68号	令和元年度	2019（平成31）年度定期総会、浅川ダム鯉のぼり舞う、第3回獅子舞フェスティバル（北郷・台ヶ窪・伺去3団体参加）、「地域おこし協力隊だより」（ワイン用ブドウ植樹始まる）、松代地区住民自治協議会（スハマ会）からエドヒガンザクラ購入→ダム展望広場に植樹、「共に生きる」（新役員紹介）
	7月31日	第69号		浅川河川敷「ホタル鑑賞会」2年目、フジバカマ苑整備（チーム・フロンティア浅川）、春の地区内めぐり（浅川平坦部散策）、浅川子どもプラザ・児童センター紹介、「地域おこし協力隊だより」（ワイン用ブドウの苗26,000本植付け）、「共に生きる」（家事援助協力員研修会・会員募集）
	9月30日	第70号		社明のつどい（松本少年刑務所統括矯正処遇官市村安敏さん講演）、浅川地区歴代民生委員・児童委員交流会、保護司会「なかよし交流会」（流しソーメン大会～浅川団地・西条）、浅川ダム展望広場月1回直売、北郷区防災訓練（避難所宿泊体験）、スパイラル草刈り（スポーツ課の要請）、「共に生きる」（生活支援体制整備事業検討会報告、移送協力員の1日）
	11月30日	第71号		ブランド薬師参道（十三仏）・ダム周辺整備進む、まちづくり講演会「ブランド薬師と十三仏」開催、台風19号台風災害（浅川地区にも被害）、防災訓練、戦没者追悼式、第39回ゆうわ祭、「地域おこし協力隊だより」（着任1年）、「共に生きる」（「アップルカフェあさかわ」、ひとり暮らし高齢者のつどい、花の苗交換会）

第76号 2020(令和2)9.30



第79号 2021(令和3)3.31



【みんなで
ハuckleベリーの
ヘタ取り作業】
R2.10.4



【浅川河川敷の
ハuckleベリー
がジャムに】
R2.10.13

2021(令和3)年度 会長 宮下 文夫 ～新しい扉が開かれた～

私が役員になった年、新型コロナが発症し長年続いていたいろいろな事業が中止になり、また慣れない役職と合わせて満足な活動が出来ませんでした。しかし今まで知らなかった浅川の全地区を回ったり、伝統ある行事に参加し感銘を受け、さらに長野市の都市内分権審議委員としての活動など、17年前に自治協が発足した時と同じように“新しい扉”が開かれた年でした。

住民自治協議会の歩みと共に、数々の歴史を刻んできた広報誌「せせらぎ」が今後も浅川地区の情報や発展を住民に伝えることが出来るよう、共に歩んでいきたいと思っています。

第80号 2021(令和3)5.31



第85号 2022(令和4)3.31



【あさかわの里山と森を守る会】R3.4.6



【ながの獅子舞フェスティバル(同去神楽保存会)】
R3.10.23

2022(令和4)年度 会長 金井 明靖 ～女性や若者に活躍の場を～

令和4年度は新型コロナウイルス対策のワクチン接種が始まりました。地域内の行事も人数を絞り少しずつ復活してきました。人類が始まってから感染症との戦いが続いています。我々はこれに打ち勝ってきました。感染症の根本的対策は栄養と睡眠をしっかりとることです。

さて、少子高齢化が進み、役員のなり手の不足が地域の課題となっています。アメリカの大統領に女性が選ばれるかもしれません。フランスの政党のリーダーに30歳代の人が多数いました。女性の活躍、若い人たちの活動の場を広げることが我々に課せられた任務だと思っています。地域の先輩方と共に、女性や若者をサポートして浅川地区を盛り上げていけたらと思っています。

年	発行日	せせらぎ	年度	主な掲載内容
2020	令和2年	1月31日	第72号	令和元年度 山崎智功会長年頭の辞・祝賀会、第7回住民福祉大会（介護保険課・地域包括ケア推進課講演）、民生委員・児童委員新体制、市発表会で浅川まちづくり活動成果報告、ハックルベリージャム商品化、19号台風災害義援金長野市へ納付（募金額218,434円）、「共に生きる」（生活支援体制整備事業検討会）
		3月31日	第73号	
	令和2年	5月31日	第74号	令和2年度 2020（令和2）年度定期総会中止・書面評決（新型コロナ感染防止のため）、「第二次浅川地区まちづくり計画」策定開始、「地域おこし協力隊だより」（ワインブドウ畑7,000本定植）、コロナ禍のため施設休館・行事中止、活動自粛相次ぐ、「共に生きる」（新役員あいさつ）
		7月31日	第75号	
		9月30日	第76号	
		11月30日	第77号	
2021	令和3年	1月31日	第78号	令和2年度 高橋秀通会長年頭の辞・新年祝賀会中止、冊子「ブランド薬師十三仏+4仏をひもとく」完成、保護司会「なかよし交流会」（西条）、「里山と森を守る会」活動報告、「地域おこし協力隊だより」、「共に生きる」（第三次地域福祉活動計画）完成、花の苗交換会、浅川の一年を振り返って（松本浩隆支所長）
		3月31日	第79号 カラー版	
		5月31日	第80号	令和3年度 2021（令和3）年度定期総会中止・書面評決（昨年に続きコロナ感染拡大防止のため）、「こんにちは浅川支所」（柄澤貞久支所長着任）、浅川公民館宮下春夫館長着任、「花ざかりの浅川」（写真）、鯉のぼりダム管理棟のみに掲揚（コロナのため）、「共に生きる」
		7月31日	第81号	
		9月30日	第82号 カラー版	
2022	令和4年	11月30日	第83号	令和3年度 コロナ禍で浅川地区防災講演会（危機管理防災課・古原正夫防災対策官）、ニュースポーツ体験会（パタンク・囲碁ボール）、戦没者追悼式、浅川河川敷ハックルベリー大豊作（ジャム1,500個）、フジバカマ苑アサギマダラ乱舞、ブランド薬師十三仏ビデオ撮影（シルバー人材センター映像班）、第5回ながの獅子舞フェスティバル、加藤市長退任あいさつ
		1月31日	第84号	令和4年度 宮下文夫会長年頭の辞、第8回住民福祉大会（台風19号災害ボランティア星野百代さん講演）、人権啓発委員会現地研修（藤村記念館他）、健康委員会・健康アップ術講座、第5回なかよし交流会（保護司会）、浅川小PTAやきいも大会、「浅川にワインの風を！～地域おこしの現場から」開始、浅川の一年を振り返って（柄澤支所長）
		3月31日	第85号	

第89号 2022(令和4)11.30



第93号 2023(令和5)11.30



【新しいバス停表示】R4.12.4



【浅川ダムに
鯉のぼり】
R5.4.23

2023(令和5)年度 会長 山岸 渡 ～継続は力なり～

住民自治協議会の広報誌「せせらぎ」が今年9月で第100号を迎えたこと、お慶び申し上げます。

2007年6月に第1号が発行され歴代の編集委員そして現在の編集委員の皆さんに感謝申し上げます。「せせらぎ」は浅川地区内のあらゆる行事、ニュース、お知らせ等全般にわたり住民に知らせていただける大事な広報誌だと思います。これからも広報誌発行のために編集委員の皆さん、ご尽力をお願いします。

第94号 2023(令和5)9.30



第100号 2024(令和6)9.30



浅川ダム内
で熟成！

【浅川葡萄農園 初ワイン完成】R5.11



【第1回住民自治連絡会議】R6.5.14

2024(令和6)年度 会長 白石 直人 ～「為すべき事と、出来る事」～

会長職に就任してあっという間に半年が過ぎようとしています。就任当初掲げた「為すべき事と、出来る事」の違いがようやく解りかけてきました。

この半年の間に、会長職として諸行事に参加し、地区の方々との交流を持たせていただきましたが、地区の代表として果たしてふさわしい活動が出来ているのかは大きな疑問符が付くかと思いますが、「まだ残り半年もある」と捉え「出来る事」を見つけて行きたいと思っています。諸先輩方に支えられながら、今後も少しずつ前に進みたいと考えておりますのでお力添えの程宜しくお願い致します。

浅川に何を残せるか「あと半年」と為るか「まだ半年」とするかの時期となるよう今を頑張りたいと思います。

年	発行日	せせらぎ	年度	主な掲載内容	
2022	令和4年	5月31日	第86号 本号より カラー化	令和4年度	2022（令和4）年度総会・常任評議委員会による代行開催、善光寺御開帳2022「日本一の門前町大縁日」に浅川が出店、第6回獅子舞フェスティバル（伺去神楽保存会参加）、「共に生きる」（社協新会長・吉澤忠美さんあいさつ）、ウクライナに平和を！・緊急人道支援協力、浅川小学校農業体験
		7月31日	第87号		3年ぶりに「春の地区内めぐり」（ブランド薬師～宋さんのブドウ畑）、住自協PR動画撮影「ハロー！JJK～われらの住民自治協議会」、ニューススポーツ体験会（ベタンク・囲碁ボール）、羽深文男支所長補佐着任、荻原市長訪問・役員と懇談、「共に生きる」（浅川社協Tシャツ作成、花の苗交換会&福祉自動車助成フリマ・古本交換会）
		9月30日	第88号		社明のつどい（講演：長野県犯罪被害者支援センター・前専務理事宮坂節勇さん）、第6回浅川ダム祭り・直売、坂中直売所開設、ゴマシジミ保護パトロール、あさかわ花隊・優秀賞受賞、社協月1回の資源回収実施、5地区・民生委員児童委員交換研修会、浅川総合治水対策連絡協議会総会、「共に生きる」（たすけあい協力会員表彰）
		11月30日	第89号		3年ぶりに第40回浅川ゆうわ祭（コロナに配慮、ステージ発表縮小、飲食出店中止）、防災訓練、「浅川にワインの風を！」（地域おこし協力隊ブドウ栽培4年目初収穫）、保護司会なかよし交流会（西条）、戦没者追悼式、ハックルベリージャム製造743個、浅川フジバカマ苑・アサギマダラ、「共に生きる」（車椅子介助研修・お手紙大作戦）
2023	令和5年	1月31日	第90号	令和5年度	金井明靖会長年頭の辞、「あさかわ号」バス停表示新しく！、7公民館合同成人式、民生委員・児童委員新体制、2年ぶりにしめ縄づくり、浅川小PTA焼き芋大会、神楽橋区・西条区文化祭、「共に生きる」（「ひとり暮らし高齢者のつどい」（おやきファーム見学他））、浅川の一年を振り返って（柄澤貞久支所長）
		3月31日	第91号		第9回住民福祉大会（講演：ヤングケアラー支援・宮崎貞子さん）、男女共同参画推進後援会（講演：長野県立大学築山秀夫教授）、更生保護女性会発足10周年記念研修会、浅川ダム利活用懇談会、ゴマシジミ保護育成活動発表、監査監事紹介、「共に生きる」（「ふれあいのつどい」「行ったつもり旅行」、はつらつ体操）
		5月31日	第92号	令和5年度	2023（令和5）年度総会（評議委員会）、4年ぶり！浅川ダムに鯉のぼり、春爛漫の浅川、「共に生きる」（社協新体制～正副会長・常任幹事・相談役体制に）、第7回ながの獅子舞フェスティバル（伺去神楽保存会参加）
		7月31日	第93号		第1回ニューススポーツ大会（ベタンク・囲碁ボール）、春の地区内めぐり（浅川・若槻の平坦部）、令和5年度支所発地域力向上支援金事業選考委員会、人権擁護委員の仕事紹介（寺田裕子委員）、「浅川にワインの風を！」（冬のぶどう畑）、「共に生きる」（「縁側deござる！」実施、夏のふれあい会食会）、浅川小学校運動会・人数制限なしで開催
		9月30日	第94号		コロナ禍を乗り越え4年ぶりに浅川地区市民運動会開催、社明のつどい（少年育成センター小林寛二主任指導主事・長野県刑務所就労支援スタッフ・竹原礼子さん講演）、第7回浅川ダム祭り・直売、第56回交通安全子供自転車県大会（浅川小自転車クラブ6位入賞）、4年ぶり消防団・規律放水訓練、「共に生きる」（たすけあい協力会員研修会）
11月30日	第95号	浅川地区防災訓練、第41回ゆうわ祭（飲食出店も再開）、おらほの自慢聞いとくらい発表会、人権教育現地研修（松代大本宮・安茂里地下壕）、戦没者追悼式、北部中学校校外学習、「浅川チャレンジ」、浅川葡萄農園2年目収穫（昨年の1.5倍・1,130kg）、土木要望現地調査、マレットゴルフ場に電気柵			
2024	令和6年	1月31日	第96号	令和5年度	山岸渡会長年頭の辞、保護司会・第7回なかよし交流会（西条）、浅川小・浅川支所・公民館の長寿命化工事、八幡神社保存会・平坦部役員ブランド薬師に上る、「浅川にワインの風を！」（浅川葡萄農園初めてのワイン完成（800本年内に完売））、「共に生きる」（ひとり暮らし高齢者のつどい～高野辰之記念館・高橋まゆみ人形館）
		3月31日	第97号		男女共同参画推進講演会（昨年に続き県立大・築山秀夫教授講演）、第10回住民福祉大会（県共生社会推進員・馬場美保さん講演）、久しぶりの若槻・浅川情報交換会（第8回）、4年越しの工事完了（19号台風で崩れた北郷竹ノ下の市道）、北郷鎧田の花火、浅川育成会バレーボール・野球会員募集
		5月31日	第98号	令和6年度	2024（令和6）年度総会（評議委員会）、浅川ダム鯉のぼり掲揚・不要となった鯉のぼり募集、第8回獅子舞フェスティバル（伺去保存会のみ参加）、「共に生きる」（社協新会長・松木基浩さん挨拶、たすけあい事業賛助会員募集）、「浅川の春」、「こんにちは浅川支所です」（宮本隆志支所長着任）、浅川小学校農業体験学習
		7月31日	第99号		「ながの花と緑の大賞2024」チーム・フロンティア浅川ハナモモ植栽活動が大賞・花隊はコミュニケーション賞受賞、春の地区内めぐり（北郷朝川原神社）、第2回ニューススポーツ大会、浅川小学校運動会（工事のため縮小されたグラウンドで）、つくば開成学園と交流始まる、第1回住自協連絡会（住民自治連絡協議会から移行）
		9月30日	第100号		社明のつどい（長野保護観察所長・大谷治子さん講演）、第8回浅川ダム祭り・愛護会直売、4年ぶり市民運動会（浅川小改修のため規模・時間縮小して）、ブランド薬師社殿内修復に向けて、広報誌「せせらぎ」100号発行記念号の発刊について、「浅川にワインの風を！」（醸造所開設に向けて）、「共に生きる」（11ひよりの会）、ふくちゃん号ユニフォーム新調

●歴代住民自治協議会・区長会役員及び部会長一覧

役職	年 度		2024 (R6)	2023 (R5)	2022 (R4)	2021 (R3)	2020 (R2)	2019 (R1・H31)	2018 (H30)	2017 (H29)	2016 (H28)	2015 (H27)	2014 (H26)	2013 (H25)	2012 (H24)	2011 (H23)	2010 (H22)	2009 (H21)
	会 長	副会長 (会長代行)	白石 直人	山岸 渡	金井 明晴	宮下 文夫	高橋 秀通	山崎 智功	山田 潤	小林 芳信	穂澤 正夫	帯刀 匠	竹村美岐雄	近藤 恒雄	徳武 英世	小林 邦一	山腰 建美	徳竹 貞夫
住 民 自 治 協 議 会	副会長	小林 克巳	白石 直人	山岸 渡	山岸 渡	金井 明晴	宮下 文夫	高橋 秀通	山崎 智功	山田 潤	小林 芳信	穂澤 正夫	穂澤 正夫	中牧 至	笠原 雄三	小林 保	斎藤 義信	中澤健次郎
	副会長	松木 基浩	吉澤 忠美	雄井友司郎	住吉 正幸	前沢 久	宮本 徳道	川俣 建夫	細田知洋三	宮澤 重徳	徳武 和夫	笠原 清一	中牧 至	笠原 雄三	小山 隆	花岡 一彦	松木 茂盛	山腰 建美
	副会長 (会計)	西澤 拓美	押田 光義	押田 光義	大藤 義孝	原 隆文	吉澤 恵治	中澤 悟	小林 治	上條 義治	太原 敏久	拝野 邦広	佐藤 義明	鶴田 文明	知久 荘治	花岡 吉人	花岡 忠義	木村修一郎
	監 事	小山 由美	吉澤 恵治	吉澤 恵治	吉澤 恵治	徳武 昭子	徳武 昭子	徳武 昭子	徳武 昭子	和田 幹雄	岡田 哲子	岡田 哲子	中澤健次郎	中澤健次郎	岡本 崇雄	斎藤 義信	綱島 正幸	綱島 正幸
	監 事	原 隆文	小山 由美	吉澤 恵治	吉澤 恵治	吉澤 恵治	上條 義治	上條 義治	上條 義治	徳武 昭子	和田 幹雄	和田 幹雄	岡田 哲子	竹元 忠造	竹元 忠造	竹元 忠造	竹元 忠造	竹元 忠造
	監 事	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	小島 高志	小島 高志	相沢 絹枝
	監 事	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	佐藤はつえ	阿部 慶子	—
	事務局長	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	小川 和夫	太田 善規	太田 善規	太田 善規	吉澤 忠美	中澤健次郎
	事務局次長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	小川 和夫	—	—	—	—
	会 長	小林 克巳	白石 直人	山岸 渡	山岸 渡	金井 明晴	宮下 文夫	高橋 秀通	山崎 智功	山田 潤	小林 芳信	穂澤 正夫	竹村美岐雄	近藤 恒雄	徳武 英世	小林 邦一	松木 茂盛	山腰 健美
区 長 会	副会長 (総務) (R2より教文)	小山 義直	雄井友司郎	雄井友司郎	住吉 正幸	前沢 久	宮本 徳道	川俣 建夫	細田知洋三	宮澤 重徳	徳武 和夫	笠原 清一	中牧 至	笠原 雄三	小林 保	中村真希男	鶴田 連	竹元 光義
	副会長 (社協)	竹村 正明	小池 信良	永原 要	永原 要	松木 基浩	松木 武教	堀 宏幸	渡辺 章	石坂 正実	田中 稔	相山 安男	和田 幹雄	小宮 功	手塚 博重	宮澤 博幸	吉澤 忠美	田村 茂夫
	副会長 (安防)	松木 政夫	武前 博喜	小林 高司	小林 高司	下村 守昭	荒井 信行	笠原 昭	竹元 数由	水内 喜一	北條 昭吾	外山 智義	池田 茂	—	永井 敦司	石坂 彰信	八島 司郎	宮越仙太郎
	副会長 (中輸)	石坂 健治	松木 節雄	永井 元治	永井 元治	小林 勝雄	永井 宏一	宮澤 万蔵	松木 光男	笠原 邦樹	小池 信良	笠井真知夫	宮澤 敏文	牛山 益男	曾山 俊夫	高橋 正二	宮澤 穂	—
	副会長 (会計)	西澤 拓美	押田 光義	大藤 義孝	大藤 義孝	原 隆文	吉澤 恵治	中澤 悟	小林 治	上條 義治	太原 敏久	拝野 邦広	佐藤 義明	鶴田 文明	知久 荘治	田島 守	塚田 展	—
	総務環境部会長	小林 克巳	白石 直人	山岸 渡	山岸 渡	金井 明晴	宮下 文夫	川俣 建夫	細田知洋三	宮澤 重徳	徳武 和夫	笠原 清一	中牧 至	笠原 雄三	小林 保	小林 邦一	松木 茂盛	山腰 建美
部 会	福祉健康部会長	松木 基浩	吉澤 忠美	吉澤 忠美	吉澤 忠美	小山 隆	小山 隆	小山 隆	小山 隆	小山 隆	小山 隆	小山 隆	鶴田 充和	小山 隆	小山 隆	小山 隆	拝野 忠昭	拝野 忠昭
	教育文化部会長	永井 宏一	田中 秀実	田中 秀実	田中 秀実	永井 宏一	田中 秀実	佐藤 寛	菊池 敏文	小林 高司	花岡 正典	宮下 之宏	鶴田 充和	帯刀 匠	大原 敏久	小出 豊明	徳武 英世	小島 高志
	次世代育成部会長	松尾 建己	下村 守昭	下村 守昭	山崎 健司	山崎 健司	山崎 健司	牛山 益男	牛山 益男	牛山 益男	牛山 益男	西澤 拓美	西澤 拓美	寺澤 昭彦	寺澤 昭彦	杉原 和治	鎌田 一嗣	鎌田 一嗣
	安全防災部会長	松木 政夫	武前 博喜	小林 高司	下村 守昭	下村 守昭	荒井 信行	笠原 昭	竹元 数由	水内 喜一	北條 昭吾	笠井真知夫	和田 幹雄	西原 啓吉	永井 敦司	中村真希男	山川 佑好	山腰 建美
	産業振興部会長	石坂 正実	宮澤 憲二	石坂 彰信	斎藤 義信	斎藤 義信	祖山 安男	永原 要	石坂 正実	笠原 一彦	竹村 光雄	石坂 正実	岩田 勲	松木 健二	宮澤 茂富	松木 武久	石坂 彰信	山崎 睦夫
	基盤整備部会長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	斎藤 義信	鶴田 軍蔵	鶴田 軍蔵	鶴田 軍蔵	北澤 茂	北澤 茂	北澤 茂
総 会 議 長	—	吉澤 裕明	水澤 正幸	曾山 俊夫	書面表決	書面表決	書面表決	書面表決	永井 秀和	吉澤 邦芳	横川 克彦	板倉 鐵雄	鶴田 軍蔵	手塚 博重	手塚 博重	斎藤 義信	朝日 信夫	朝日 信夫